

和合

No.129
2019.7.1

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪	2	畑にこんにちは	6
はやぐおつきぐなれの～!	3	季節の郷土料理	6
よつぱつこ通信	4	人生100年時代	7
わたしが描く和合の里	5	わごう駐在所	7
わたしから見た和合の里	5	和合の里INFORMATION	8

和合探訪

和合のルート
ここにあり！

小出新田 編

◆参考資料

『余目町史』余目町発行

『大和郷土史』

大和地区地域づくり推進会議発行

◆3ヶ村の合併

開村から明治に至るまで松山藩に属していましたが、廃藩置県で飽海郡となり、明治9年12月には小出新田、棧新田、荘次郎新田の3ヶ村が合併して小出新田村と称しました。その後、明治22年4月から東田川郡に編入され今日に至ります。

◆土場

小出新田の北部は俗に「土場」と呼ばれており、渡船場や舟運によって開けたところです。集落が形成されたのは明治以降で、住民の多くは他地方からの移住者でした。大正10年頃には、瓦工場や材木商、大工職、畳職、更には茶屋や宿屋も数軒あり大和村における最も反映した商工地でした。

八幡神社



明暦3年、太田名右エ門が羽黒山別当寂光寺の紹介で、京都の石清水八幡宮から勧請し、祈願所として建立したといわれています。応神天皇が武神、小児誕生、穀霊や新田開発の神として祭られており、例祭日は5月1日。(現在は5月3日)

著名人 PICK UP!!

- 慶応4年 農家阿部茂七の長男として誕生。12歳から農業に従事する。
- 明治20年 乾田馬耕、雁爪除草、水稻の改良等の研究に没頭。
- 明治26年 良質米の代表的なコシヒカリ、ササニシキ、つや姫、雪若丸などの祖となる「亀ノ尾」を創選。在来品種と比べ風害、虫害に強く多収であった。
- 明治39年 小出新田・堤新田連合耕地整理組合を設立し、最上川左岸の開発に着手。また、有限会社大和信用組合設立に奔走し、明治45年には監事に就任。
- 明治44年 「亀ノ尾」が庄内地方作付面積の65%を占める。この頃から大正にかけて、全国で栽培され、日本三大品種の一つとして名を広めた。
- 大正10年 大日本農会から有功賞を授与。
- 昭和2年 藍綬褒章を受章。同年、小出新田の八幡神社境内に頌徳碑が建立される。

村のはじまり

小出新田は、松山町史年表によれば万治元年(1658年)の開発となっています。開発に伴い太田名右エ門によって村の鎮守として八幡神社が建立されましたが、これが明暦3年(1657年)のことと伝えられており、1年ほど差がありますが、おおよその頃に小出新田村がつくられたようです。しかし、残念ながらその経緯や開発者などはわかっていません。

◆^{した}棧新田と荘次郎新田

小出新田の南、堤新田の南東には、棧新田という分村がありました。延宝2年(1674年)、三五郎という人物が開発したといわれています。

また、荘次郎新田は余目町史に、後に根子新田と改めたとあることから、小出新田の中でも“ねっこ”と呼ばれているところがこの荘次郎新田なのではないでしょうか。開発年代は不明ですが、荘次郎という人物が開いたという話があります。

文化の発祥地

かつて小出新田が松山藩領だった頃、松山藩主が領地を巡回する際、あるいは本家の庄内藩主を訪れる際には、最上川を船で渡り小出新田の村中を通過して往復しており、太田名右エ門宅を宿場として休憩することもありました。その時に、松山藩から俳句の指導を受けていたようです。

その影響もあって、明治36～37年ごろに江陽社が発足し、以降多くの同人によって詠まれてきました。また、庄内における名俳人として斎藤惣弥を輩出しています。



阿部 亀治

(慶応4年3月9日～
昭和3年1月2日)

パパとママにインタビュー

はやくおっきくなれの～!

- 1 3人目にして女の子なので、温かみのある名前がいいねとパパと一致。ひらがなに♡そして、かわいらしく誰にでも優しく、キラキラした女の子になれるようにと願いをこめて♡



石川いろはちゃん

(主殿新田)

平成30年7月12日生まれ

パパ：雅浩まさひろ ママ：祐さち

- 2 くるくる回るおもちゃや、音の鳴るおもちゃが大好き♡“いないいないばあ”も大好きで、壁に隠れて“ばあ!”をしてニコニコ😊♡



- 3 お菓子を食いたいはずなのに、手に渡すとお菓子をポイっと投げ、口にあーんをしてあげるとパクっ♡



- 4 ちょっと目を離れたすきに、ソファや階段にのぼり、誇らしげに立っていたこと。

- 5 兄2人に囲まれ、もみくちゃんにされながら、今は男の子みたいだけど、かわいらしい女の子に育ってね♡ 兄妹3人で仲良く歩いている姿がもうすぐ見られると思うと楽しみ♡

上林 えいじ 英侍ちゃん

(大真木)

平成30年7月28日生まれ

パパ：恒太こうた ママ：春華はるか



- 1 文武に優れ、礼儀正しく、勇敢でまっすぐで、男気がある子と願ってつけました。

- 2 アンパンマン、いないいないばあ、おかあさんといっしょを見ること。

- 3 「いってらっしゃい」と言うと、手を振ってバイバイすることを覚え、やり始めたこと。

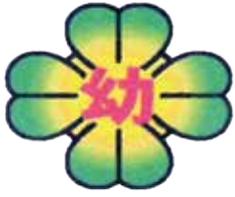
- 4 初めての男の子だったので、オムツ交換の時におしっこが噴水のように出て慌てたこと。

- 5 とにかく元気が一番。幸せをありがとう。いつもニコニコ笑顔で、家族仲良くたくさん思い出作ろうね。



Q1 名前の由来は? Q2 今一番の興味やはまってることは? Q3 最近記憶に残ったエピソードは?

Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ



余目第四幼稚園

よつばっこ通信

🍀 親子で自然に触れよう～ザリガニ釣りに挑戦！～



今年の5月の親子遠足では、鶴岡市自然学習館“ほとりあ”に出かけました。心地よい天候の中、緑いっぱい広がる自然の中でザリガニ釣りに挑戦！

まずは、湿地帯に生えている「葦（よし）」を使って、竿づくりをしました。各家庭から持ってきたスルメの餌を付け、ザリガニのいるポイントを探して、いざ出発！待つことしばらくすると、「釣れたー！」という声が聞こえてきました。子どもに負けないぐらい、大人も夢中になっている姿も…。

「エサに食いついたけど、逃げられた！」「水中に姿は見えなかった！」等、「釣れそうで、なかなか釣れない。」という、ちょっと難しいところが、やる気をかき立てたようです。

その後、ザリガニを家に持ち帰った子どもやお家の方からは「名前も付けて可愛がっています」「毎日エサやりをして、世話しています」「お父さんと一緒に、またチャレンジしてきた！」等々、楽しい声が聞かれました。

“親子で一緒に楽しい遊び”ができて、子ども達の笑顔があふれる親子遠足となりました。



▼うしがえるもさわったよ！



🍀 せんせいあのね

- K男 「家にねー、ばっちゃんっていう人いるんだよー」
Y子 「えー！家にも、ばっちゃんっていう人いるよー」
二人 「おんなじだね〜」

わたしが描く和合の里

ぼくは、和合の里が今と同じように緑豊かなところになってほしいと思います。庄内は米の生産がさかんなので、ずっと続けてほしいです。北には鳥海山、南には月山が見えて、ぼくはとてもいいところだと思っています。それともう少し観光するところが増えて、県内外や外国からも観光客がくるととてもうれしいです。



徳田 悠真
【古関】



長南 優姫
【沢新田】

私が描く和合の里は、自然がきれいなことです。木や花などがたくさんあって、とても豊かです。地域の人も優しいのでとても笑顔になれます。これからも、自然豊かで明るい地域づくりをしていきたいと思っています。私も積極的に地域のボランティアに参加したいです。

私が描く和合の里は、みんなが仲よく、楽しく元気に安心して過ごしていける和合の里です。町民運動会や秋まつりなど、みんなが楽しめる行事がたくさんあります。その中で、仲よくしてみんなが元気に楽しく遊んで、良い和合の里になってほしいです。



加藤 光咲
【主殿新田】



渡會 花
【吉方】

私は、みんなが笑顔で楽しくできる「和合の里」にしたいです。私が卒業しても、キレイで美しく、笑顔で楽しくできる「和合の里」になってほしいです。そして、ずっと「和合の里」をみんなで協力して守り続けていってほしいです。

私は、元気いっぱい自然がたくさんある和合の里をつくりたいです。子どもからおとしよりまで自然がいっぱいな和合の里にずっと住みたい！と思ってもらえる町にして、毎日元気にすごせるところにしたいです。そして、和合の里でいつでも平和に過ごしていけるように、四小の最高学年として責任をもっていきたいです。



石川 真子
【連枝】

わたしから見た和合の里

「和合の里」の皆様、いかがお過ごしでしょうか。余目第四小学校には三年間お世話になりました。私にとって、とても楽しく、地域の皆様や保護者の皆様にたくさん支えていただいた三年間でした。

一・二年生活科で野菜を植えたときには、畑の先生としておばあちゃんたちから植え方を指導していただきました。苗の種類や準備など何でも相談のつてくださり、また、野菜の育ちが良くないときにもいろいろと助けていただきました。おかげで収穫した野菜でおいしいお菓子や料理を作ることができました。子どもたちの苗の植え方や野菜の世話、調理を見ても、おじいちゃんおばあちゃんたちと畑に親しみ、家族と一緒に手伝いを頑張っていることが感じられました。

二年生活科の町たんけんの一環で、学習発表会で和合の里のお祭りを発表したときには、練習や衣装、道具、当日の着付けや演奏まで、本当にお世話になりました。様々なご支援を受けて、子どもたちは自信を持って発表をすることができたとともに、自分たちが育っている和合の里を誇りに思うことができました。

和合の里は、家族や地域の方々とのふれあいや経験が子どもたちの生活に根ざして、優しくたくましく温かい地域でした。



前 庄内町立余目第四小学校教諭
田中 涼香 先生

畑にこんにちは!

上林 清一さん(大真木)

入梅したばかりの6月上旬、ちょうど作業中だった上林清一さんの畑にお邪魔しました。

畑に下りて、まず驚いたのは、草が一本も見当たらなかったことです。思わず、どうしてこんなにきれいなんですかと尋ねてしまいました。

上林さんは「近頃はスズメより早く起きて散歩の前に畑に寄っては草取りをしている」と話してくれました。畑には、なす、トマト、きゅうりなどの夏野菜をはじめ、枝豆やよど豆(さやいんげん)、もつてのほかなどが数多く植えられていました。

上林さんの畑で特に興味深かったのは、畑の隣にある田んぼのステップにまで枝豆が植えられていたことです。“わせ”なので稲刈りには全く影響しないとのことですが、稲刈りが終わった後には白菜を植え、土地の有効活用をしているそうです。昔は、枝豆は畦畔に植えたんだとか。

畑を始めたきっかけは、元々何かを作るのが大好きで、退職を機に始めたそうです。最近では、鳥獣被害に悩んでおり、ミニトマトなど、明日採りごろだと思って翌朝畑に行くと、すでに鳥から突かれてしまって…と

困った様子でした。畑のほかにも神社や寺、農地・水の役員、庄内地区交通安全協会の副会長を務めるなど、多忙な日々を送る上林さんには、畑に向き合う時間がストレス発散にもなっているのではないのでしょうか。



上林さんによると、枝豆は“根っこを切らず”とよいとのこと、豆と豆の畝の土を寄せてあげると、雑草にも負けない食味の良い枝豆ができそうです。(左写真が、根っこを切らしているところ)



季節の郷土料理 どじょう汁

◆事前準備(どじょうしめ)

- ①田んぼの水口に“ドウ”を一晩置く。
- ②小川にどんじょ網を置き、がったでガタガタと音をさせながらどじょうを追い込む。

“どんじょ網”



“がった”

“ドウ”

◆材 料(4人分)

- どじょう……270g 酒……100cc
★水……400cc ★みりん…大さじ1
★醤油……大さじ4 ☆豆腐……1/2丁
☆不断菜(なつ菜)、なす、焼麩、ネギ…適宜
卵……適量

◆作り方

- 1 どじょうを2~3日、水を替えながら泥を吐かせる。
- 2 鍋にどじょうと酒を入れ、静かになるまでふたをする。
- 3 鍋を火にかけ、★を加える。
- 4 3に☆を加えて煮る。
- 5 具材に火が通ったら味見をし、好みに調味料を加え、味を整える。
- 6 割りほぐした卵をまわし入れ、火を止めてでき上がり。



◇ 豆知識

【土用丑】夏の土用は1年で最も暑い時期とされ、夏バテ防止にウナギを食べる習慣が全国的に行われていますが、余目では昔ほどどじょうを食べることが多かったようです。

出典：『余目町の民俗 年中行事』



人生100年時代

～がんを予防し、健康寿命を延ばそう!!～

庄内町保健福祉課 保健師 渋谷 麗

今、日本人の2人に1人が、一生のうち一度はがんになるというデータがあります。また、庄内町の死亡原因の第1位はがんです。「5つの健康習慣」を実践し、自分自身の努力でがんになる確率を低くしましょう。

1 禁煙

吸っている人は禁煙し、吸わない人はたばこの煙をなるべく避けて生活する。

2 節酒

＜飲酒量の目安＞	
日本酒	1合
ビール大瓶(633ml)	1本
焼酎、泡盛	原液で1合の2/3
ウイスキー、ブランデー	ダブル1杯
ワイン	ボトル1/3程度

3 食生活を見直す

- ①減塩する ②野菜と果物を取る
- ③熱い飲み物や食べ物は冷ましてから

問い合わせ先 健康推進係（立川総合支所） ☎56-2904

4 身体を動かす

18歳～64歳 “歩行またはそれと同等以上の強度の身体活動を毎日60分行うこと”に加え、“息がはずみ、汗をかく程度の運動を毎週60分程度行うこと”

65歳以上 “強度を問わず、身体活動を毎日40分行うこと”

5 適正体重を維持する

男性 BMI値 21.0～26.9 でがんのリスクが低い。

女性 BMI値 21.0～24.9 で死亡のリスクが低い。

BMIは値が高くなるほど、肥満度が高いことを表します。自分のBMI値を計算してみましょう。

$体重(\text{kg}) \div (\text{身長}(\text{m}) \times \text{身長}(\text{m})) = \text{BMI値}$

あおり運転禁止!!

～悪質、危険な運転の取締り強化!～

わごう駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



相手の自動車に激しく接近し、もっと速く走るように挑発、妨害するような「あおり運転」等は大変危険です。わざと自分の車を相手の車に著しく接近させる行為等は、相手を殴る行為と同じように、暴行罪（刑法第208条）や、相手方が怪我をすれば傷害罪（刑法第204条）が成立する場合があります。

交通死亡事故に発展する恐れ!…全国的には、相手車両から極端に接近されたり、前に割り込まれる「あおり運転」等による交通死亡事故も発生しています。

思いやりを持った運転を!…運転者は「思いやり、ゆずり合い」の気持ちを持って運転しましょう。

被害を受けた場合は?…走行中「あおり運転」等を受けた場合は、追突事故等の恐れが無い「駐車帯等の安全な場所」に避難し、車からは絶対に出ないで、直ぐに110番通報して下さい。

「あおり運転」等の態様(例)	違反の種別(道路交通法)
前方の自動車に激しく接近し、もっと速く走るよう挑発する	車間距離保持義務違反(法26条)
危険防止を理由としない、不必要な急ブレーキ	急ブレーキ禁止違反(法第24条)
後方から進行してくる車両等が急ブレーキや急ハンドルで避けなければならないような進路変更を行う	進路変更禁止違反(法第26条の2第2項)
車体を極めて接近させる幅寄せ行為を行う	安全運転義務違反(法第70条) 初心運転者等保護義務違反(法第71条第5号の4)

春の褒章に廻館の名木保存会 緑綬褒章受章!!

5月20日、令和元年度の春の褒章受章者が発表され、和合の里からは名木保存会（廻館）が緑綬褒章を受章しました。名木保存会は30年ほど前から、廻館のケヤキの管理や、その周辺の植栽活動などに取り組んできました。会長の石崎文志さんは「管理に努め、地域のシンボルとして後世に受け継いでいきたい」と意気込みを語りました。



また、6月5日には名木保存会と地域の有志によって、マリーゴールドやビンカなどの植栽が行われました。



※廻館のケヤキは平成3年5月1日に庄内町指定文化財（天然記念物）に指定されています。

歩いた!! 歩いた!! 四小5年生宿泊体験

6月12日から14日まで2泊3日の日程で、余目第四小学校の5年生が大中島自然ふれあい館 森森で宿泊体験を行い、初日は清川駅から徒歩で森森を目指しました。距離はおよそ17km。右写真はスタートから大体3km地点での様子です。加藤結愛さん（主殿新田）は「夕飯はカレーとサラダ作りがあるけど、事前に練習してきたのできっと上手にできるはず」と意気込みを語りました。



頑張った~!! 町民運動会和合大会!!

6月2日、絶好の運動会日和の中、余目第四小学校のグラウンドで、第14回庄内町民運動会和合大会が行われました。和合の里の21部落が8班に分かれ9種目で得点を競い合い、特に最終種目となったリレーは男女ともに白熱戦となり、男子リレーでは勢い余って転倒する一幕も。

【成績】優勝 7班（沢新田、連枝）

準優勝 2班（前田野目、福島、大真木、返吉）

3位 8班（小出新田、堤新田）

編集後記 歩かなければ歩けなくなる!!

近頃ニュースでは高齢ドライバーの事故が取り沙汰されていますね。日本は既に超高齢社会に突入し、和合の里も余目地区では一番高齢化率が高く、人ごととは思えません。いつまでも健康で危なげなく運転できるに越したことはありませんが、免許返納を見据えて、返納後の移動手段のシミュレーションや健康なうちから歩く習慣を身につけることも大事なことでないでしょうか。

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

7月18日（木）

全館床清掃